

令和元年(2019年)11月15日

### CSF(豚コレラ)ワクチン初回接種が終了しました。

10月26日(土)に開始した管内養豚場におけるCSFワクチンの初回接種は、11月2日(土)に終了しました。円滑な接種にご協力いただき、ありがとうございました。  
今後は以下のように接種していきますので引き続きよろしくお願いいたします。

- ★ 繁殖豚：6か月後に接種(候補豚含む)、その後は1年毎(通算4回まで)
- ★ 哺乳中の豚：離乳後、30日齢以上になってから接種(概ね2週毎)
- ★ 非接種農場からの導入豚：その都度

○今後の接種には、330円/頭の手数料がかかります。

○ワクチン接種により事故が起きた場合、手当金が申請できますのでご相談ください。

### ワクチン接種豚の出荷・移動

CSFワクチンを接種した豚をと畜場や農場に出荷・移動する際は、家畜伝染病予防法第7条の規定により、豚に確実に標識を付すことが必要です。

- 標識の色：ピンク(蛍光色)または赤色(蛍光色)を推奨
  - 標識の部位：背部
  - 標識の方法：頭部を上部として「V」の字を付す
- ※なお、ワクチン接種後20日間はと畜場への出荷はできません。  
また、生きた豚の接種区域外農場への移動はできません。



### 《要注意!! ASF(アフリカ豚コレラ) 近隣諸国でも発生中!!》

今回のCSFウイルスは海外からの侵入が疑われており、ASFウイルスも同様のリスクがあると考えられます。CSFワクチンの接種により気を緩めることなく、引き続き侵入防止対策に万全を期してください。

#### 予防対策の重要ポイント



#### 韓国におけるASFの発生状況



- ①人・物・車両によるウイルスの持込み防止
  - ・衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
  - ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
  - ・人・物の出入りの記録
  - ・飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ摂氏70度・30分以上又は摂氏80度・3分以上の加熱処理を徹底
- ②野生動物対策
  - ・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物の混入防止
  - ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
  - ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管

異常の連絡は佐久家保 Tel 0267-62-4123 へ! (夜間・休日も)